

島根労働局発表  
平成25年3月28日

担	島根労働局健康安全課 健康安全課長 吉見 友弘 地方産業安全専門官 川角 洋二
当	TEL 0852-31-1157 FAX 0852-31-1163

## 平成24年島根県内における労働災害発生状況

島根労働局（局長 佐藤弘実）は、島根県内における平成24年の労働災害の発生状況について、下記のとおり取りまとめました。

### 1 死亡労働災害発生状況

- （1）労働災害による死亡者数は7人であり、前年に比べ5人の減少となった【別添 No. 1】。
- （2）死亡者数を業種別にみると、建設業が2人、製造業、林業が各1人などとなっている【別添 No. 2、3】。

### 2 休業4日以上労働災害発生状況

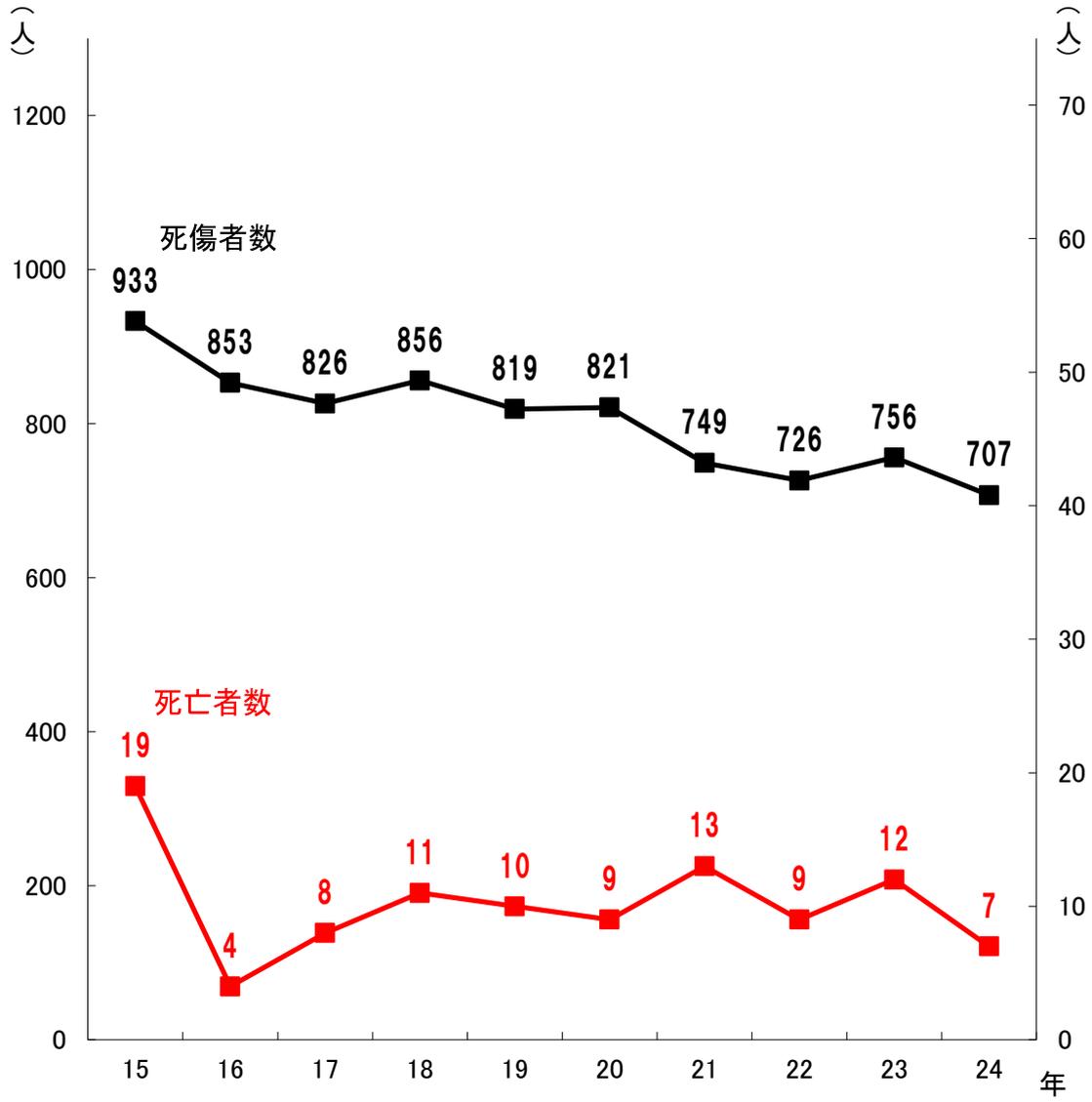
- （1）休業4日以上労働災害による死傷者数は707人であり、前年に比べ49人の減少で、過去最少となった【別添 No. 1】。
- （2）死傷者数を業種別にみると、林業で56人（23人減）、建設業で114人（18人減）、製造業で144人（2人減）となり死傷者数が減少した一方、小売業で85人（15人増）、社会福祉施設で72人（15人増）、道路貨物運送業で47人（10人増）となり、死傷者数が増加した。【別添 No. 2】。

### 3 業種別災害発生状況の推移【別添 No. 4】

- （1）製造業、建設業は、いずれも平成23年と比べて減少し、長期的に減少傾向にある。
- （2）小売業、社会福祉施設は、いずれも2年連続で増加している。
- （3）林業、道路貨物運送業は増減を繰り返しているが、長期的には若干の減少傾向にある。

島根労働局では、この状況を踏まえ、労働災害のさらなる減少を目指して第12次労働災害防止計画（平成25年度から平成29年度までの5カ年計画）を策定し、災害が増加している小売業、社会福祉施設等に対する集中的な取組及び製造業、建設業における重篤な災害を防止するための取組を推進することとしています。

### 年別労働災害発生状況の推移



## 業種別労働災害発生状況

No.2

業種	平成23年		平成24年		増減数		死傷者数の増減率 (%)
	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	
製造業	3	146	1	144	▲ 2	▲ 2	▲ 1.4
鉱業		5		2	0	▲ 3	▲ 60.0
建設業	4	132	2	114	▲ 2	▲ 18	▲ 13.6
土木	2	48	2	43	0	▲ 5	▲ 10.4
木造建築		26		17	0	▲ 9	▲ 34.6
その他の建築	2	46		40	▲ 2	▲ 6	▲ 13.0
その他		12		14	0	2	16.7
運輸交通業	1	51	1	64	0	13	25.5
道路貨物運送	1	37		47	▲ 1	10	27.0
その他の運輸		14	1	17	1	3	21.4
林業	2	79	1	56	▲ 1	▲ 23	▲ 29.1
伐木・搬出		23		28	0	5	21.7
造林・その他の林業	2	56	1	28	▲ 1	▲ 28	▲ 50.0
第三次産業 <sup>※1</sup>	2	316	2	300	0	▲ 16	▲ 5.1
小売業		70	1	85	1	15	21.4
社会福祉施設		57		72	0	15	26.3
飲食店		17		17	0	0	0.0
その他の第三次産業	2	172	1	126	▲ 1	▲ 46	▲ 26.7
その他 <sup>※2</sup>		27		27	0	0	0.0
合計	12	756	7	707	▲ 5	▲ 49	▲ 6.5

※1 第三次産業とは、全産業のうち、製造業、鉱業、建設業、運輸交通業、貨物取扱業、農林業、畜産・水産業を除くもの。

※2 その他とは、貨物取扱業、農業、畜産・水産業。

## 平成24年死亡災害発生一覧

島根労働局

No.	発生 月日	業 種	発 生 状 況
1	1月	建設業	残土を運搬するため、勾配のある運搬路上を不整地運搬車を走行させての試運転中、運搬路上を下る途中で当該機械とともに転倒し、退避しようとした被災者の上に当該機械が覆い被さる状態で当たったもの。（当該機械は運搬路の側方にある排水路まで転落した。）
2	4月	林業	林業現場において、チェーンソーを使用して伐倒した木の枝打ち作業中、左足大腿部の内側を当該チェーンソーで切ったもの。
3	4月	警備業	道路工事現場で一般車両等の交通誘導を行っていた時、現場作業員が積載型トラッククレーンに乗車せずに窓の外からエンジンを掛けたところ、エンジンの始動と共に車両が動き、前方で交通誘導をしていた被災者に激突し足を轢かれ、後日死亡したもの。
4	5月	鋳物業	当日の作業終了後、コンベヤの箇所の電灯が消えていないことに気付いた労働者が当該電灯のスイッチのところに行ったとき、当該コンベヤの脇に被災者が倒れているのを発見したもの。
5	6月	道路旅客 運送業	会社所有車を運転して国道を走行中、対向してきた車両がセンターラインを越えて来て正面衝突をしたもの。
6	11月	建設業	被災者一人で、ドラグショベルを用い法面の掘削作業を行っていたが、数時間後に、ドラグショベルもろとも転落しているところを発見されたもの。
7	12月	新聞販売 業	新聞配達のため原付バイクを運転していたところ、後方から走行してきた乗用車に追突されたもの。

年別・業種別労働災害発生状況

